

Microchip 社と Acacia 社、最適化されたテラビット規模の データセンター インターコネクト システムを共同で実現

共同で実現された相互運用可能なコヒーレント光回線エコシステムで、
データセンター インターコネクトとメトロ伝送システムの開発を効率化

2024 年 8 月 14 日[NASDAQ: MCHP] - データセンター アーキテクチャの進化とトラフィックの増加により、データセンター間の帯域幅要件が高まっています。この課題に対処するため、システム開発者は幅広いクライアントコンフィギュレーションで新世代の 1.2 Tbps (1.2 T) 伝送ソリューションの開発を効率化する必要があります。そのために必要となるのが、DCI (Data Center Interconnect) とメトロ伝送ネットワークにおける現在のテラビット規模の Ethernet PHY デバイスとコヒーレント光回線モジュールの相互運用です。Microchip Technology Incorporated(日本法人: 東京都港区浜松町、代表: 櫛晴彦 以下 Microchip 社)は本日、Acacia 社と共同で Microchip 社の [META-DX2](#) Ethernet PHY ファミリと Acacia 社の [CIM 8 \(Coherent Interconnect Module 8\)](#) について第 4 世代の相互運用性を実証したと発表しました。

両社の相互運用可能なデバイスは DCI および伝送ネットワークのプラグブル光回線向けに低消費電力で帯域幅が最適化されたスケーラブルなソリューションを実現します。両社が共同で実現する光伝送プラットフォーム向けの大容量マルチレート マックスポンダにより、以下の 3 つの主な特長が実現されます。

- DCI 帯域幅の最適化: META-DX2 ファミリは META-DX2+ PHY を通じて独自の Lambda スプリット機能を使い、400 GbE または 800 GbE のクライアントを CIM 8 モジュールで駆動される複数の波長に分割します。これにより、2 波長 x 1.2 Tbps による 3 x 800 GbE、または 2 波長 x 1.0 Tbps による 5 x 400 GbE 等のレート構成におけるデータセンター間の容量が最大化されます。
- 設計リスクの低減: Ethernet および OTN クライアントでレーンあたり最大 112G の SerDes の相互運用が Microchip 社と Acacia 社によって共同で検証されているため、設計の妥当性確認およびシステム認定の要件が下がります。
- 全帯域幅、マルチレート動作のサポート強化: META-DX2+ のクロスポイントおよびギアボックス機能により、100 GbE ~ 800 GbE のクライアント モジュールを CIM 8 モジュールに全帯域幅で接続できるようになります。

「今回の相互運用性は Acacia 社との長年にわたるパートナーシップを拡大し、クラウド コンピューティングと AI 対応光ネットワークの構築を加速し最適化すると共に、お客様の開発リスクを低減するものです」と Microchip 社 通信部門担当副社長の Maher Fahmi は述べています。「当社の META-DX2 はこの種のソリューションとして初

Microchip 社と Acacia 社、最適化されたテラビット規模のデータセンター インターコネクト システムを共同で実現

2-2-2-2

めて、市場で最も小型の 112G PAM4 デバイスに 1.6 T の暗号化、ポート アグリゲーション、Lambda スプリットを搭載しました」。

「相互運用性が検証された Acacia 社の CIM 8 コヒーレント モジュールと Microchip 社の META-DX2 デバイスは、システムの市場投入までの期間を短縮する強固なソリューションになるでしょう」と Acacia 社の DSP 製品ライン マネジメント部門取締役の Markus Weber 氏は述べています。「コンパクトで電力効率の高い CIM 8 コヒーレント モジュールは、ネットワーク事業者がデータセンター間と伝送ネットワーク全体に高帯域幅 DWDM 接続を導入し、その容量を拡張するのに役立つよう設計されています」。

リソース

高画質の写真は報道関係専用窓口までお問い合わせ頂くか、Flickr でご覧ください。掲載に許可は不要です。

- アプリケーション画像: www.flickr.com/photos/microchiptechnology/53725782078/sizes//

Microchip Technology 社について:

Microchip Technology 社(以下、Microchip 社)はスマート、コネクテッド、セキュアな組み込み制御と処理ソリューションのトッププロバイダです。使いやすい開発ツールと包括的な製品ポートフォリオにより、リスクを低減する最適な設計を作成し、総システムコストの削減、迅速な商品化を実現できます。Microchip 社は産業、車載、民生、航空宇宙と防衛、通信、コンピューティングの市場でおおよそ 123,000 社のお客様にソリューションを提供しています。Microchip 社は本社をアリゾナ州チャンドラーに構え、優れた技術サポート、確かな納期、高い品質を提供しています。詳細は Microchip 社ウェブサイト(www.microchip.com)をご覧ください。

###

Note: Microchip 社の名称とロゴ、Microchip ロゴは米国およびその他の国における Microchip Technology Incorporated の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

詳細については、以下にお問い合わせください。
Daphne Yuen (Microchip 社): (852) 2943 5115
(メール: daphne.yuen@microchip.com)

松田、仙場 (共同 PR): (03) 6260 4863
(メール: mchp-pr@kyodo-pr.co.jp)

報道関係者の方へ: このニュースリリースのメールによる配信については、共同 PR 株式会社 松田もしくは仙場まで電話(03) 6260 4863 またはメール mchp-pr@kyodo-pr.co.jp でお問い合わせください。